

[illegible]

学校法人 神戸薬科大学

〒658-8558 神戸市東灘区本山北町4丁目19番1号

TEL (078)453-0031 番(代)

FAX (078)441-7506 番

法人コード番号

281010

I. 法人の概要	1
(1)基本情報	1
(2)創学の精神	1
(3)大学の理念	1
(4)学校法人の沿革	1
(5)学校・学部・学科等	2
(6)学校・学部・学科等の学生数	3
(7)収容定員充足率	3
(8)役員の概要	3
(9)評議員の概要	4
(10)会計監査人の概要	4
(11)理事選任機関の概要	5
(12)教職員の概要	5
II. 事業の概要	6
(1)教育環境整備事業	10
(2)学生支援事業	11
(3)研究支援事業	12
(4)法人運営事業	14
(5)キャンパス整備事業	16
(6)学生募集強化事業	17
(7)広報・地域連携・生涯研修・その他の事業	19
III. 財務の概要	21
(1)事業の予算執行	21
(2)法人会計決算	21
(3)財務運営の状況	31
(4)経営上の成果と課題、今後の対応方策	39
IV. 学校法人の業務の適正を確保するための体制（内部統制システム）の整備 及び運用状況の概要	40
(1)関係する決議の概要	40
(2)体制整備及び運用状況の概要	40

I 法人の概要

1. 基本情報

法人名称 : 学校法人神戸薬科大学
主たる事務所の住所 : 兵庫県神戸市東灘区本山北町4丁目19番1号
電話番号 : 078-453-0031
FAX番号 : 078-441-7506
ホームページアドレス : <https://www.kobepharma-u.ac.jp/>

2. 創学の精神

科学的素養を身につけ、社会に貢献できる女子を育成し、
薬剤師資格を得て社会で女子が自立できることを目的とする。

3. 大学の理念

社会に大きく開かれた大学であることを意識し、
創立以来の伝統である教育と研究の両立を基盤としながら、
医療人としての使命感と倫理観を十分に理解し、
高度な薬学の知識を身につけた薬剤師、
並びに教育・研究者を養成すること、
さらに地域の医療と環境問題に目を向けて
健康の維持・増進にも貢献できる拠点となること

4. 学校法人の沿革

1930（昭和5）年4月5日 武庫郡魚崎町に「神戸女子薬学校」として開校
1932（昭和7）年4月1日 専門学校令による「神戸女子薬学専門学校」設立
（認可S7年3月29日）（財団法人認可S7年3月29日）
1932（昭和7）年4月27日 神戸市灘区原田に開校（4月27日創立記念日）
1935（昭和10）年4月1日 現在地に移転（本館・実験室1棟・寄宿舎北寮竣工）
1949（昭和24）年4月1日 学制改革により「神戸女子薬科大学」設置
（認可S24年2月21日）
1951（昭和26）年3月5日 財団法人神戸薬科大学の組織変更
学校法人神戸薬科大学設立認可
1965（昭和40）年4月1日 薬学科（既設）に併せて衛生薬学科を増設
（認可S40年1月19日）
1967（昭和42）年4月1日 大学院博士前期（修士）課程開設（認可S42年3月29日）
1979（昭和54）年4月1日 大学院博士後期課程増設（認可S54年3月30日）
1994（平成6）年4月1日 大学名称変更「神戸薬科大学」・男女共学となる
（認可H5年8月24日）
1996（平成8）年6月1日 医療薬学総合研修センター開設
1999（平成11）年4月24日 西宮グラウンド開設
2000（平成12）年8月31日 10号館（神戸薬科大学ライフサイエンスセンター）竣工
2002（平成14）年4月1日 大学院医療薬科学専攻修士課程開設

	(認可H13年12月20日)
2005 (平成17) 年 4月 1日	収容定員増学則変更 (認可H16年9月30日)
2006 (平成18) 年 4月 1日	学部6年制教育開始・収容定員増学則変更 (認可H17年9月30日)
2006 (平成18) 年10月 1日	薬学基礎教育センター開設
2007 (平成19) 年 6月20日	薬剤師認定制度認証機構から「生涯研修プロバイダー」 として認証 エクステンションセンター開設
2008 (平成20) 年 2月29日	11号館開設 (薬学臨床教育センター) 竣工
2008 (平成20) 年11月25日	学生支援センター設置 (3号館改修)
2009 (平成21) 年 4月 1日	(財) 大学基準協会の大学基準による大学評価 (機関別認証評価) 認定 (認定期間は、H21年4月1日～H28年3月31日の7年間)
2010 (平成22) 年 4月 1日	大学院薬科学専攻修士課程開設 (認可H22年9月30日) (廃止2024年3月31日)
2010 (平成22) 年10月28日	六甲キャンパス校地校舎取得
2012 (平成24) 年 4月 1日	大学院薬学専攻博士課程開設 (認可H23年9月26日)
2013 (平成25) 年 3月 1日	80周年記念館 (6号館) 竣工
2016 (平成28) 年 4月 1日	(公財) 大学基準協会による大学評価 (機関別認証評価) 認定 (認定期間は、2016年4月1日～2023年3月31日の7年間)
2017 (平成29) 年 2月 1日	8号館 (研究棟) 竣工
2017 (平成29) 年 3月31日	(一般) 薬学教育評価機構による薬学教育評価 (専門分野別評価) 認定 (認定期間は、2017年4月1日～2025 年3月31日の8年間)
2017 (平成29) 年 9月 1日	地域連携サテライトセンター竣工
2017 (平成29) 年12月15日	薬剤師認定制度認証機構から「健康食品領域研修認定薬剤 師制度」の実施機関として認証
2021 (令和 3) 年 4月 1日	総合教育研究センター開設
2023 (令和 5) 年 4月 1日	(公財) 大学基準協会による大学評価 (認証評価) 認定 (認定期間は、2023年4月1日～2030年3月31日の7年間)
2023 (令和 5) 年11月30日	A棟 (教育棟) 竣工
2024 (令和 6) 年 4月 1日	建物名称変更 収容定員増学則変更 (2023年6月28日認可)
2025 (令和 7) 年 3月 3日	一般社団法人薬学教育評価機構による薬学教育評価 (専門 分野別評価) 認定 (認定期間は、2025年4月1日～2032年3月 31日の7年間)

5. 学校・学部・学科等

設置する学校	学部・学科等
神戸薬科大学	薬学部 (薬学科)
神戸薬科大学大学院	薬学研究科 (薬学専攻)

6. 学校・学部・学科等の学生数【2025年5月1日現在】

(学部)

区分	年次	定員	現員	男 (比率)	女 (比率)
薬学部 薬学科	1年次生	280	350	107 (30.6%)	243 (69.4%)
	2年次生	280	336	89 (26.5%)	247 (73.5%)
	3年次生	270	293	89 (30.4%)	204 (69.6%)
	4年次生	270	318	101 (31.8%)	217 (68.2%)
	5年次生	270	254	84 (33.1%)	170 (66.9%)
	6年次生	270	274	85 (31.0%)	189 (69.0%)
	計	1,640	1,825	555 (30.4%)	1,270 (69.6%)

(大学院)

区分		年次	定員	現員	男（比率）	女（比率）
薬学 研究科	博士課程	1 年次生	3	6	3（50.0％）	3（50.0％）
		2 年次生	3	7	3（42.9％）	4（57.1％）
		3 年次生	3	3	1（33.3％）	2（66.7％）
		4 年次生	3	3	3（100％）	0（0％）
計			12	19	10（52.6％）	9（47.4％）

7. 収容定員充足率【2025年5月1日現在】

学校名	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
神戸薬科大学	105.0%	108.0%	106.0%	110.0%	111.3%

8. 役員の概要【2025年6月9日（2025年度定時評議員会終結時）現在】

定数 理事9名、監事2名

役職	氏名	就任年月日	常勤・非常勤の別	業務執行・非業務執行の別	主な現職
理事長	宮田 興子	2022年6月1日	非常勤	業務執行	(株)大阪ソーダ社外取締役
代表業務執行理事	北川 裕之	2014年4月1日	常勤	業務執行	本学学長・教授
理事	橋田 充	2022年6月1日	非常勤	非業務執行	京都大学高等研究院物質-細胞統合システム特任教授
理事	馬場 章夫	2022年6月1日	非常勤	非業務執行	
理事	向 智里	2022年6月1日	非常勤	非業務執行	信州大学学長補佐 金沢大学学長特別補佐
理事	上田 昌史	2022年4月1日	常勤	職員	本学教授
理事	岡田 功	2020年4月1日	常勤	職員	本学事務局長
理事	小西 守周	2022年4月1日	常勤	職員	本学教授
理事	向 高弘	2018年4月1日	常勤	職員	本学副学長・教授

監事	春田 純一	2022 年 6 月 1 日	非常勤	非業務執行	大阪大学大学院薬学研究科特任教授
監事	宮下 和之	2025 年 6 月 9 日	非常勤	非業務執行	

責任免除に関する決議等、責任限定契約、補償契約及び役員賠償責任保険契約の状況

責任免除については、寄附行為第 58 条において役員又は会計監査人が任務を怠ったことによって生じた損害について本法人に対し賠償の責任を負う額から私立学校法 第 92 条の規定に基づく最低責任限度額を控除して得た額を限度として理事会の決議によって免除することができる」と定めている。

役員賠償責任保険契約の状況

加入責任期間 2025 年 4 月 1 日～2026 年 4 月 1 日
被 保 険 者 理事・監事、評議員、退任役員
支 払 限 度 額 300,000 千円

9. 評議員の概要【2025 年 6 月 9 日（2025 年度定時評議員会終結時）現在】

定数 10 名

氏名	就任年月日	主な現職等
江本 憲昭	2016年 5月27日	本学教授
坂根 稔康	2022年 4月 1日	本学教授
柳川 貴志	2018年 4月 1日	本学事務局次長
竹内 敦子	2018年 6月 1日	神戸常盤大学特命教授
宮崎 智子	2018年 6月 1日	医療法人社団董会名谷病院薬局長
秋元 典子	2022年 6月 1日	甲南女子大学学長・理事
笠井 秀一	2022年 6月 1日	(株)エビラファーマシー代表取締役
寺田 健志	2022年 6月 1日	(株)大阪ソーダ代表取締役社長執行役員
室井 延之	2022年 6月 1日	神戸市立医療センター中央市民病院薬剤部長 兼神戸市立神戸アイセンター病院薬剤部長
矢野 育子	2022年 6月 1日	神戸大学医学部附属病院薬剤部長・教授

10. 会計監査人の概要【2025 年 6 月 9 日（2025 年度定時評議員会終結時）現在】

定数 1 名

名称 ネクサス監査法人

就任年月日 2025 年 6 月 9 日（2025 年度定時評議員会終結時）

責任免除に関する決議等、責任限定契約、補償契約及び役員賠償責任保険契約の状況

責任免除に関する決議については、役員と同じ。

責任限定契約、補償契約及び役員賠償責任保険の契約はなし。

1 1. 理事選任機関の概要

構成等

理事選任機関は理事会とし、構成員は全ての理事。

1 2. 教職員の概要【2025 年 5 月 1 日現在】

教育職員 84 名（平均年齢：50.1 歳）				
教授 34 名	准教授 21 名	講師 19 名	助教 7 名	助手 3 名

※学長・副学長は教授に含む

※特任助教は助教に含む

※特定教授は教授に含む

事務職員等 39 名（平均年齢：46.5 歳）					
所属部署		事務系	技術系	兼任	計
事務局	総務企画課	10			10
	施設課	3	3		6
	経理課	3			3
	学術情報課	4		(1)	4(1)
学生支援 センター	教務課	5		(1)	5(1)
	学生支援課	5		(1)	5(1)
入試部	入試広報課	6			6
内部監査室				(3)	(3)
計		36	3	(6)	39(6)

※事務局長・事務局次長は総務企画課に含む

※内部監査室（兼任）のうち、1 名は教員かつ教務課兼任

※学術情報課及び学生支援課は特定教授各 1 名が兼任

Ⅱ 事業の概要等

第3期中期計画(2022～2026年度)では「薬学の未来を牽引する人材の育成」をビジョンとして掲げ、これまで段階的な改革を推進してまいりました。

初動期(2022・2023年度)においては、100分授業や独自科目「ロジカル思考演習」をはじめとする大胆なカリキュラム改革を断行するとともに、総合教育研究センターを核とした教育の内部質保証体制を確立しました。また、最新のICT設備を備えた新教育棟(A棟)の竣工や学内ネットワークの拡充を図り、DX時代に対応した高度な教育・研究環境の基盤を構築しました。

続く3年目の2024年度は、これらハード・ソフト両面の基盤を軌道に乗せつつ、キャンパスの耐震化率100%を達成し、さらに入試制度の多角化を通じた学生募集の強化にも着手しました。

これら3年間の歩みを受け、4年目となる2025年度は、第3期中期計画の総仕上げを見据え、教育の質の向上とキャンパス環境の最適化が結実した年となりました。教育面では、4年目を迎えた「新カリキュラム」の検証を進め、PBL(問題解決型学習)を取り入れた「薬学的症例解析演習」を新たに実施するなど、より実践的な学修支援体制を構築しました。施設整備においては、旧1号館の解体跡地に「神薬ガーデン」が完成したことで、本中期計画の最重要課題の一つであったキャンパス整備計画を完遂いたしました。これにより、懸案であった校舎間のバリアフリー化100%を達成したほか、G棟への最新ICT設備導入や基幹システムの刷新により、教育・研究環境のさらなる高度化を実現しました。また、法人運営においても、改正私立学校法に準拠した新寄附行為に基づく運営を開始するとともに、事務組織の再編や次期学長の選考を行うなど、次世代を見据えた持続可能なガバナンス体制を確立しました。

次に、教育・研究の概要として、3つのポリシー(ディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシー、アドミッション・ポリシー)の内容をあらためて記載します。

[3つのポリシー]

(薬学部)

(1)ディプロマ・ポリシー

所定の単位を修得し、薬剤師に必要な以下に掲げる知識、技能、態度を備えた学生の卒業を認め、「学士(薬学)」の学位を授与する。

- ① 医療を担う薬の専門家として相応しい薬学に関する十分な知識、技能を有すること。
- ② 薬学・医療の進歩と改善に貢献できる科学的思考力、課題発見能力、問題解決能力を有すること。
- ③ 医療人として相応しい倫理観と使命感を有し、患者や生活者の立場に立って行動できること。
- ④ 医療人に必要なコミュニケーション力を有すること。
- ⑤ 地域の医療、環境衛生に貢献できる幅広い知識と見識を有すること。
- ⑥ 生涯にわたって自己研鑽をし続ける能力と意欲を有すること。

(2) カリキュラム・ポリシー

本学のディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)に基づいて、「薬学教育モデル・コアカリキュラム」に準拠した科目と本学独自の科目を体系的に編成し、講義、演習、実習を適切に組み合わせた授業を開講する。

本学の教育課程では、その授業科目を基礎教育科目、教養教育科目及び専門教育科目に分ける。各授業科目は、必修科目及び選択科目に分け、これを各年次に配当して編成する。

全ての授業科目に GIO(一般目標)と複数の SBOs(到達目標)を定める。これらの SBOs を達成することにより GIO に到達し、ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)を実現する。

- ・幅広い視野を身につけるための教養教育科目、「薬学教育モデル・コアカリキュラム」に準拠した薬学基礎系科目及び医療系科目を系統的に編成し、実施する。
- ・医療人としての倫理観と使命感を育成し、患者・生活者本位の視点を身につけるための科目を編成し、実施する。
- ・地域の保健や医療に貢献できる知識と実践的能力を養成し、近隣大学や地域の医療機関との連携に基づくチーム医療教育を充実し、実施する。
- ・研究マインドを涵養し、生涯にわたって自己研鑽を続け、後進を育成する意欲と態度を有する人材の養成を図るため、薬学臨床科目、薬学研究科目を編成し、実施する。
- ・生涯学習に対する意欲を醸成するために、薬剤師生涯研修事業を取り入れるなど、特色ある薬学教育アドバンス科目を編成し、実施する。
- ・本学独自科目をシラバスに明記し、履修モデルをもとに目指すキャリアを明確にする。
- ・高等学校から大学への円滑な接続ができるよう、初年次教育を充実させ、習熟度に配慮したクラス編成を取り入れた科目を編成し、実施する。
- ・科学的思考力、課題発見能力、問題解決能力及びコミュニケーションスキルの育成を図るため、PBL や SGD などのアクティブ・ラーニングを取り入れた少人数教育科目や統合教育科目を編成し、実施する。
- ・ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)に掲げる薬剤師に必要な知識、技能、態度を評価する。
 - ① 「薬学教育モデル・コアカリキュラム」に準拠した科目と本学独自の科目の評価
 - ② 実務実習の評価
 - ③ 卒業研究の評価

(3) アドミッション・ポリシー

本学では、その理念、教育目標、ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)及びカリキュラム・ポリシー(教育課程編成・実施の方針)のもと、医療人としての使命感と倫理観を十分に理解し、社会に貢献するために高度な薬学の知識と技能を修得できる資質と協働性をもった、次のような人を求めています。

求める人物像

- ① 自然科学を深く学ぶ意欲と能力を有している人物
- ② 高等学校までに学ぶべき事項を幅広く修得している人物
- ③ 本学での学習を通してこれからの社会で通用する実力及び医療人に必要なコミュニケーション力を身につけ、将来、薬学、医療、及び関連する分野で活躍したいという強い意志と意

欲を持つ人物

求める人物像における具体的な項目について記載し、このような入学者を適正に選抜するため多様な選抜方法を実施します。

関心・意欲・態度・探究心

自然科学(特に薬学及び関連分野)に強い関心と学ぶ意欲を持ち、生命・健康・医療に関する諸問題に対して探究心を身に付け、活躍、貢献したいという意志を持つ人物

知識・教養

薬学の専門分野を学ぶために、入学後の学修に必要な理科、数学に加え、英語等の基礎学力を有している人物

思考力・判断力

これまでの知識をもとに、思考を深めながら適切に判断できる人物

表現力・コミュニケーション力

自分が伝えたいことを相手に表現できるだけでなく、相手の表現を正しく理解し、コミュニケーションできる人物

協働性

問題解決のために、いろいろな分野の人と協力して活動できる人物

*高等学校で学ぶべき具体的な内容

(試験科目より)

理科「化学基礎・化学」「生物」「物理」の基礎的な知識と科学的に探究する姿勢

数学「数学Ⅰ」「数学Ⅱ」「数学A」「数学B」の基礎的な知識と論理的思考力

英語「コミュニケーション英語Ⅰ」「コミュニケーション英語Ⅱ」「コミュニケーション英語Ⅲ」「英語表現Ⅰ」「英語表現Ⅱ」の基礎的な読解力・表現力・コミュニケーション力・論理的思考力

(試験科目以外)

国語 様々な文章の読解力と自分の伝えたいことを表現できる基礎的な文章力

公民 倫理における基礎的な内容の理解

特別活動及び課外活動等を通じた自主性、協調的な態度や思いやりと奉仕の心

(大学院・博士課程(4年制)薬学研究科薬学専攻)

(1)ディプロマ・ポリシー

神戸薬科大学の理念に基づき、講義、演習、課題研究等を通じて以下に掲げる高度な専門知識と研究能力を身につけた上で、神戸薬科大学大学院学則に定める修了要件を満たした学生に博士(薬学)の学位を授与する。また、博士(薬学)の学位は、本学に学位申請論文を提出してその審査に合格し、かつ、博士課程を修了した者と同等以上の学力を有することを確認した者にも授与する。

- ① 薬学に関連する課題解決を目指すための高度な専門知識を修得し、先端的な研究を実践できる能力を身につけて、薬学研究を行うことができること。
- ② 国際的視点から薬学専門領域の研究動向を把握した論文作成能力及びコミュニケーション能力を身につけていること。

- ③ 高い倫理観と生涯にわたる自己研鑽の重要性を理解して、医療に関する課題を発見し、解決に向けて対応する能力が培われていること。

(2) カリキュラム・ポリシー

講義、演習、課題研究等を適切に組み合わせたカリキュラムを編成し、実施する。

全ての授業科目に GIO(一般目標)と複数の SBOs(到達目標)を定める。これらの SBOs を達成することにより GIO に到達し、ディプロマ・ポリシーを実現する。

- ・薬学研究を遂行するための基盤として、英語論文の作成能力や研究者としての倫理観を育成するための必修講義科目を設置し、実施する。
- ・薬学専門領域の研究動向や薬学に関連する課題解決を目指すための高度な専門知識を修得するための講義科目を編成し、実施する。
- ・論理的思考力、課題発見能力、外国語によるコミュニケーション能力の育成を図るため、演習科目を設置し、実施する。
- ・薬学研究者としての課題解決能力を養成するため、課題研究科目を重点的に配置し、実施する。また総説講演にて、最新の研究動向及び研究成果を発表することにより、プレゼンテーション能力及びディスカッション能力を養成するとともに、複数の教員により進捗状況やコミュニケーション能力を確認し、指導する。
- ・臨床薬学コースを選択した学生に対しては、医療現場等で課題を発見し、解決する能力を培うため、臨床研修科目を設置し、実施する。
- ・薬学における最新の動向を学ぼうとする意欲の高い社会人等が、生涯にわたり自己研鑽を続ける意欲を醸成するため、昼夜開講制の講義科目を設置し、実施する。

(3) アドミッション・ポリシー

神戸薬科大学の理念を理解し、大学院薬学専攻博士課程の人材養成の目的に応えるような次のような人物の入学を希望します。

- ① 医療人としての倫理性を備え、臨床薬学業務を担う熱意を持つとともに、確かで高度な専門知識に裏づけられた技能を持つことに意欲の高い人物
- ② チーム医療の現場において薬剤師として活躍できる人物
- ③ 創薬・育薬を担う熱意を持つとともに、人間性豊かで医薬品開発などの国際的舞台で活躍を目指す意欲の高い人物

2025 年度事業計画の各項目について、実施状況を次のとおり報告する。

1. 教育環境整備事業

(2025 年度事業計画より)

教育活動では、4 年目となる「新カリキュラム」の検証と充実に取り組みます。また、3 年目の検証結果を踏まえたカリキュラム上の改善策の効果を見極めます。それら教育 IR の分析に関して、活動の拠点となる総合教育研究センターの教員による、今後の「ストレート卒業率、薬剤師国家試験ストレート合格率の向上」に向けた「教育方法及び教育の成果等に関する調査と分析」を実施し、その成果を「定期的な FD 研修会」を通して、全教員へ共有していきます。また、その結果を活用して、補講などの低学力の学生のための学修支援を実施する予定です。さらに、2024 年度から適用されている「改訂薬学教育モデル・コアカリキュラム」の検証を進めます。

そして、ICT を駆使した A 棟講義室での「電子黒板」「Microsoft365」の活用状況を検証し、その結果を踏まえ他棟の教室への展開についても検討していきます。

「重要業績評価指標 (Key Performance Indicator)」設定

標準修業年限内の卒業率 80.0%

(2024 年 3 月標準修業年限内の卒業率 76.8%)

薬剤師国家試験ストレート合格率 70.0%

(2024 年 3 月施行第 109 回薬剤師国家試験ストレート合格率結果 66.3%)

■ 新カリキュラムの検証と充実

4 年次生の新設科目「薬学的症例解析演習」において、代表的 8 疾患の模擬症例を用いた問題解決型学習 (PBL) を実施した。教員 30 名超による指導体制のもと、当初の計画通り全課程を修了した。

■ 教育 IR の活用と学習支援

2025 年度の進級率および卒業率は、1 年次生 90.0% (2024 年度 92.9%)、2 年次生 92.2% (2024 年度 95.9%)、3 年次生 95.6% (2024 年度 96.4%)、4 年次生 96.2% (2024 年度 99.6%)、6 年次生 93.6% (2024 年度 94.7%) となり、昨年度に比べると若干低下した。

2026 年 3 月に合格発表があった第 111 回薬剤師国家試験の結果は、合格率全国平均 68.49% (第 110 回 68.85%) に対して本学全体で 78.53% (第 110 回 76.79%)、本学新卒で 84.68% (第 110 回 82.09%) であった。

■ ICT 教育の推進

G 棟大講義室に新教育棟 (A 棟) と同等の最新 ICT システムを導入した。

■ KPI 達成状況

2026 年 3 月卒業 標準年限内の卒業率 80.00%
第 111 回薬剤師国家試験ストレート合格率 69.82%

2. 学生支援事業

(2025 年度事業計画より)

経済面の支援:引き続き、成績優秀者を対象とした「神戸薬科大学奨学生制度」による支援を継続しつつ、家計が急変した学生を対象とした「神戸薬科大学応急援助奨学生制度」の拡充を検討します。これにより、学生が経済的に安心して勉学に取り組める環境を整備します。

健康・精神面の支援:学生相談室や医務室、クラス担任との連携を強化し、健康診断の受診促進やメンタルヘルス疾患の予防、セルフケアに関する情報を積極的に発信し、心身の健康維持を支援します。また、学生支援センター運営委員会で策定した合理的配慮に基づいた障害のある学生への支援の運用を開始します。さらに、孤独感を抱える学生を生むことのないよう、学生同士のつながりを深める行事の企画・実施にも取り組みます。これらの取り組みを通じて、学生が安心して通学し、学業に専念できる「居場所」となる環境づくりに努めます。

キャリア支援:病院志望者へのキャリア支援として、新たに臨床特命教授によるキャリア相談の機会を設けます。企業志望者に対しては、キャリア支援委員会や各研究室と連携し、上場企業や中堅規模の優良企業の情報を収集し提供していきます。また、これらの情報をイベントやキャリア相談を通じて広く周知し、学生の多様なキャリア形成を支援します。

その他:学生の安心・安全を確保するため、引き続き安否確認システム ANPIC(アンピック)の登録率向上に努めます。また中長期的な学生支援の最適化を図るため、2025 年度に実施予定の学生生活実態調査における回答率向上に努め、より多くの学生の現状を的確に把握できる体制を整えます。

「重要業績評価指標(Key Performance Indicator)」設定

2024 年度卒業生の進路決定率 100%

内訳:病院・企業・公務員・大学院進学合計で 60%

(2023 年度卒業生の 5 月 1 日における卒業生の進路決定率 100%

内訳:病院・企業・公務員・大学院進学合計で 39.6%)

安否確認システム ANPIC(アンピック)登録率 90%

(2025 年 1 月末時点 65%)

■ 経済的支援

家計急変者を対象とした「応急援助奨学生制度」の拡充について検討を完了した。次年度より具体的な制度設計に着手する。

2025 年度において、経済的理由による退学者は発生しなかった。

■ 健康・精神面およびバリアフリー支援

- ・ 健康診断の受診促進については、医務室と連携し、未受診者の保護者への連絡等の対応を強化した。その結果、受診に至った事例も確認され、最終的な受診率は 99%であった。
- ・ 合理的配慮に基づく障害学生支援の運用を開始した。前期 10 件、後期 9 件(うち継続 6 件)の支援を実施した。
- ・ 学生同士のつながりを深める取組として、新入生を対象とした学生自治会による交流行事を実施した。その結果学園祭(ききょう祭)実行委員への立候補者が増加するなど、学生の主体的な活動につながった。

■ キャリア支援

臨床特命教授・特任教授によるキャリア相談枠を新設したところ、病院志望者を中心に 205 件の相談があった。

■ KPI 達成状況:

- ・ 2024 年度卒業生の進路決定率 100%
内訳:病院・企業・公務員・大学院進学合計で 55.6%
- ・ 安否確認システム ANPIC (アンピック)登録率 学生 91%、教職員 100%

3. 研究支援事業

(2025 年度事業計画より)

研究活動において、2024 年度をもって全ての採択課題の研究期間が終了した「学長裁量経費に基づく共同研究」については、前回と同様のテーマで再度 2025 年度から新たな研究課題を一斉に開始します。また、我が国の創薬力向上に貢献するため、創薬に直結した基礎研究による新たなシーズの創製、および創薬に携わる人材の育成を目的として「学長裁量経費に基づく次世代創薬に資する独創的薬学研究」も 2024 年度途中より新たに開始しています。日本私立学校振興・共済事業団「大学間連携等による共同研究」「学術研究振興資金」を積極的に推進します。日本学術振興会「科学研究費助成事業」や科学技術振興機構「戦略的創造研究推進事業」等、競争的研究費等の獲得拡大を目指すほか、科学技術振興機構「共創の場形成支援プログラム」等に参画します。将来に備え「大型、中型機器の購入に備えた研究充実準備積立金」として購入資金の積立を実施します。中期計画に定める「研究 IR」(2025 年度:研究データ分析)、内閣府が求める「研究データポリシー」「研究インテグリティの確保」、文部科学省が求める「研究不正防止の取り組み」、経済産業省が求める「安全保障輸出管理」に係る対応に引き続き取り組みます。これら多くの取り組みにより、本学の特色ある研究「疾患微小環境の解明に基づくセラノスティクス創薬」を推進していきます。

さらに、2024 年度に設置したイノベーションラボの有効活用について、大型の競争的研究費等を獲得した教員による使用のほか、大学ホームページや外部サイトへの情報掲載等を通して、企業等との共同研究における活用を引き続き模索します。

「重要業績評価指標 (Key Performance Indicator)」設定

研究成果に関するプレスリリース件数 10 件以上

(2024 年度研究成果に関するプレスリリース件数 8 件)

※良い研究成果を対象としてプレスリリースすることとしており、その対象基準を 5 年インパクトファクターが 5 以上の雑誌又は Nature Index に採用されている雑誌に掲載されたものとしている。

■ 学長裁量経費による研究推進

- ・ 「学長裁量経費に基づく共同研究」として、神戸大学との共同研究 8 件を含む全 16 件の新たな研究課題を開始した。
- ・ 「学長裁量経費に基づく次世代創薬に資する独創的薬学研究」全 15 件は、今年度を最終年度として計画を終了した。

■ 外部資金の獲得

- ・ 私学事業団「大学間連携等による共同研究」について、大学間連携等による共同研究委員会に申請があった全 15 課題を補助金対象として申請した。
- ・ 私学事業団「若手・女性研究者奨励金」に 1 件採択された。
- ・ 日本学術振興会「科学研究費助成事業」について、38 件の課題が実施された。

■ 研究 IR

- ・ 2025 年 10 月より学長特命補佐を中心として、本学を代表する研究プロジェクト創出に向けた研究データ分析を行った。

■ 内閣府等が求める取り組みへの対応

- ・ 「神戸薬科大学研究データポリシー」を策定し、2025 年 12 月 18 日から施行した。
- ・ 研究不正防止計画に基づき、研究不正防止説明会や理解度チェックテスト、四半期毎の啓発活動等を実施した。
- ・ 「安全保障輸出管理」について、職員の理解度調査およびフィードバックを適切に実施した。

■ イノベーションラボの有効活用

企業との共同研究によるイノベーションラボの利用が、2025 年 4 月より新たに 1 件開始された。

■ KPI 達成状況

研究成果に関するプレスリリース件数 10 件

4. 法人運営事業

(2025 年度事業計画より)

法人運営においては、私立学校法改正に伴い、2025 年 4 月 1 日付で施行される新寄附行為に則った法人運営を行い、理事会と評議員会による迅速な決議、対応の遂行を目指します。また、適正な法人運営を目指して、理事長と教職員との面談、並びに、求人企業や寄附団体などの学外ステークホルダーの皆様との意見交換を計画しています。

2024 年度に整備した内部統制システム整備の基本方針に基づき、2025 年 4 月 1 日から内部統制システムの運用を開始します。理事の職務執行、リスク管理、コンプライアンスの管理、監査業務等を行いながら、随時、確認、見直しを行い、改善を図っていきます。

ガバナンス・コードについては、日本私立大学協会改定の「私立大学ガバナンス・コード」＜第 2.0 版＞が 2025 年 4 月 1 日から適用開始され、そのコードに基づき、点検を行います。本学の実情を解釈して遵守状況を点検し、その結果をホームページで公表するとともに、日本私立大学協会へ報告します。

2025 年度末に学長の任期満了を迎えるにあたり、学校法人神戸薬科大学学長選考規程に基づき、学長選考を実施し、新学長を決定します。2026 年度までの第 3 次中期計画の終盤に向けて進捗状況を確認し、総仕上げを行っていきます。

監査では、「最近監査対象となっていない者及び競争的資金を複数受給している場合は、不正発生のリスクが高まる」との文部科学省ガイドラインを考慮して監査対象を決定していきます。2024 年度に受審した「薬学教育評価機構による第三者評価(専門分野別評価)」の結果を受け、改善項目の対応を検討し実施します。

財務面については、引き続き学生生徒等納付金収入の安定的な確保を図るとともに、収入源の多様化を図るため、積極的な外部資金、補助金・寄付金収入の獲得に努めます。支出においてもキャンパス整備の推進に多額の資金投入を行っており、経常経費を含め予算を慎重に審議し、適切かつ効率的な資金投入を行います。キャンパス整備の進捗に合わせ第 2 号基本金引当特定資産の取崩しを行うとともに、今後の高額な研究用機器の購入に備え、研究充実準備積立金の積立を行います。また、キャンパス整備完了後、既存建物の大規模修繕計画の立案を予定しており、それに合わせた「第 2 号基本金引当特定資産の積立計画」の検討を行います。職員の労働環境にあっては、勤怠の申請、承認を効率化し、申請書類のペーパーレス化を進めつつ、子育て世代が働きやすい職場環境の充実にも取り組みます。「事務処理の簡素化」「文書・書類のペーパーレス化、電子化」を大きく進め、事務の ICT 化を一層推進します。

なお、大学改革の一環として事務組織の改編を検討し、2025 年 4 月 1 日から総務課と企画・広報課の企画部門を統合し「総務企画課」へ、入試課と企画・広報課の広報部門を統合し「入試広報課」へ、学生課とキャリア支援課を統合し「学生支援課」へ改組します。改組後は、合理的かつ効率的な組織運営を行っていきます。

「重要業績評価指標(Key Performance Indicator)」設定

新「学校法人神戸薬科大学寄附行為」に則った法人運営及び内部統制システムの検証

■ 新ガバナンス体制の運用

2025 年 4 月 1 日付で施行された新寄附行為に則り、理事会および評議員会による迅速な決議体制を構築し、適切に運用を進めた。

■ 各種ステークホルダーとの意見交換

理事長による教職員面談や各種行事への出席、企業訪問を積極的に実施した多方面との対話を通じて広く意見収集を行い、開かれた法人運営を推進した。

■ 内部統制

内部統制システム整備の基本方針に基づき、2025 年 4 月より運用を開始した。経営、リスク、コンプライアンスに対する管理体制および監査環境の整備状況を点検し、基本方針と齟齬がないことを確認した。

■ 私立大学ガバナンス・コード

「私立大学ガバナンス・コード＜第 2.0 版＞」に基づき遵守状況を点検し、その結果をホームページで公表するとともに日本私立大学協会へ報告した。

■ 学長選考

現学長の任期満了に伴い、学長選考を実施し、2025 年 9 月に開催された理事会にて次期学長を決定した。

■ 監査体制

内部監査室による適切な監査を実施し、その状況を監事連絡会を通じて監事と共有した。また、従来からの決算監査に当たる合同監査を開催したほか、より効率的な監査体制を構築すべく、三様監査(監事・会計監査人・内部監査室)による意見交換会を新たに実施した。

■ 第三者評価

「薬学教育評価機構による第三者評価(専門分野別評価)」の指摘事項に対し、改善に向けて学外の意見を聴取するため、アンケートを実施した。

■ 財務状況

財務の概要については、本事業報告書のⅢ財務の概要「4. 経営上の成果と課題、今後の対応方策」に詳細を記載している。

■ 労働環境の整備

法改正に伴う規程の改正を行い、子育て世代や介護を担う教職員が安心して働ける環境を整備するとともに、学内に周知徹底した。

■ 事務組織の再編

2025 年 4 月 1 日付で「総務企画課」「入試広報課」「学生支援課」への改組を完了し、合理的・効率的な組織運営及び事務の ICT 化を推進した。

■ KPI 達成状況

新寄附行為に準じた法人運営及び内部統制システムを順調に稼働開始した。

5. キャンパス整備事業

(2025 年度事業計画より)

キャンパス整備事業においては、2025 年 6 月に旧 1 号館の解体工事が完了すると共に、2025 年度末を完成予定とした跡地整備工事に着手します。その整備計画では、昨年度に実施した学生・教職員による「神薬ガーデンデザインワークショップ」で出た意見の取り入れ、旧 1 号館の一部を再利用することや大阪・関西万博で使用した木材の再利用の検討、そして建物間スロープを車いす単独移動に合致した勾配基準に改修するなど、SDGs の意識とバリアフリー化の推進を見据えた跡地整備を行います。この整備工事完了により、これまでの耐震化に主眼をおいた一連のキャンパス整備が完了することになり、2025 年度は教育環境の機能維持を目的とした既存建物の大規模修繕計画の立案に着手します。また、設備関連として、昨年度実施できなかった RI 空調設備の更新、G301、G302 への電子黒板の設置に加えて、学内情報基盤整備の一環として、情報基盤のさらなる充実を目指し、サーバ機器の冗長化やデータ連携基盤構築、コンピュータ演習室のパソコン・什器の更新、複合機の一元管理、および老朽化したネットワーク配線の更新を実施します。また、学生の個人印刷を有料化し、図書館システムも刷新することで、より効率的で安全な情報環境を提供します。

「重要業績評価指標 (Key Performance Indicator)」設定

神戸薬科大学における校舎間の車いす単独移動可能通路の整備率 100%

(2024 年度の整備率 57.1%)

■ 跡地整備とバリアフリー化

旧 1 号館の解体工事は 2025 年 6 月に予定通り完了し、引き続き跡地整備工事として着手した「神薬ガーデン」も 2026 年 3 月に完成した。あわせて、文部科学省の補助金を活用し E 棟アプローチのスロープを車いす利用に適した勾配へ改修を行い、これにより、SDGs の理念に沿ったキャンパス内の全校舎間バリアフリー化を実現した。

■ 大規模修繕計画の立案

既存建物の機能維持を目的として、2026 年度から 2030 年度までの 5 年間の大規模修繕計画を策

定した。

■ 設備関連事業

RI 空調設備の更新は計画通り完了し、原子力規制庁へ変更許可申請を行い、許可証が発行された。また、G 棟大講義室 (G301 および G302) に電子黒板をはじめとする最新 ICT システムを導入した。

■ 学内情報基盤の整備

サーバ機器の冗長化、データ連携基盤の構築、およびコンピュータ演習室の更新を実施した。また、複合機の更新と一元管理、学生個人印刷有料化システムの導入、図書館システムの刷新を完了し、効率的かつ安全な情報環境を構築した。

■ KPI 達成状況

校舎間の車いす単独移動可能通路の整備率 100%

6. 学生募集強化事業

(2025 年度事業計画より)

出願者の大幅な増加を目指し、新方式の入試導入や種別毎の入学定員の変更等の入試制度の抜本的な見直しを行います。2026 年度入試は、年内入試が総合型、学校推薦型 (指定校制・公募制専願・公募制併願) の計 4 種、一般選抜も 4 種 (A 日程 (旧: 前期)・B 日程 (旧: 中期)・地域枠・共通テスト利用) と合計 8 種の多様な入試で、潜在的な志願者の掘り起こしと取り込みを図ります。また、新たな層からの志願者獲得を目指して、外部英語試験や共通テスト併用の入試を検討します。さらに、2021 年度入試から始めた「新入生特待生制度」、2022 年度入試から始めた「入学金延納制度」を継続し、国公立大志望の受験生の確保に取り組みます。加えて、受験生の利便性向上や受験機会の拡大を目的に、CBT 方式による入試方法を引き続き検討し、全国の薬学部に先駆けての導入を目指します。

入試広報の強化は、地元兵庫県からの出願が減少した 2024 年度入試の結果を踏まえ、「薬学への誘い」「サイエンスフェア in 兵庫」などの地元の高校生に対する事業に積極的に取り組みます。また、スーパーサイエンスハイスクール指定高等学校 (SSH 校) との連携強化を拡大継続していきます。SSH 校とのパイプ強化の核となる事業「薬学への誘い」は、本学での研究の実体験を通じて薬学の奥深さ・幅広さを知ってもらう企画で、2022 年度に参加した高校 2 年生 10 名を追跡調査したところ、最終 4 名が入学者となっており、引き続き拡充していきたいと考えています。加えて、志願者の大半を占める兵庫県や大阪府の高校に対しては、昨年度に引き続き教職協働を実践して重点的に訪問し、薬学出前講義あるいは新教育棟 (A 棟) での薬学講義を積極的に実施し、高校低学年から本学の知名度向上を図っていきます。オープンキャンパスは、例年の夏季と秋季に加え、4 月に高校新 2・3 年生向け春季オープンキャンパスを実施します。A 棟を開催拠点として計画しており、高水準の ICT 環境や教育の質、学生生活など本学の魅力を発信していきます。さらに、SNS や

学習支援アプリでの宣伝など広告媒体の見直しも行っています。

総合型及び学校推薦型選抜による入学者増を計画していますが、その反面、年内に進学を決めると合格から入学までの期間に中弛みする傾向があることから、入学前教育の重要性が増しています。本学では、主に年内入試(専願型入試と入学を確約した併願型入試)の合格者を対象に、学内教員による充実した入学前教育を実施しており、高校から大学への円滑な接続を目指します。さらに、入学前教育の取り組みについては、高校生だけでなく、高校や保護者に対しても積極的に宣伝することで志願者増を図ります。

大学院においては、2023 年度末の大学院薬学研究科(修士課程)薬科学専攻の廃止により、大学院におけるリソースを博士課程に集中し、本学独自の薬剤師レジデント制度を利用した「病院研修型社会人大学院博士課程」をはじめ、優秀な大学院博士課程修了生の輩出を進めます。

「重要業績評価指標(Key Performance Indicator)」設定

入学試験出願者数前年比 105%

(2024 年度実績 出願者数前年比 84%)

2024 年度総志願者／2023 年度総志願者数 ＝ 1,829 名／2,178 名)

■ 入学試験制度の見直し

外部英語試験活用方式および共通テスト併用方式を新たに導入し、計 8 種の多様な入学試験を実施した。外部英語試験活用方式を導入した学校推薦型公募制は、志願者 423 名(前年度 416 名)と微増したが、大学入学共通テスト併用方式を導入した一般選抜 B 日程の志願者は、177 名(前年度 253 名)に留まった。

■ 高大連携と広報の強化

- SSH 校との連携事業「薬学への誘い」を継続・拡充し、2025 年度は年間 3 回(計 6 日間)実施した。対象は明石北、小野、神戸、神戸大附属、長田、姫路東、市立西宮の計 7 校である。また、前年度参加者の追跡調査を行ったところ、2024 年度の参加者延べ 71 名のうち、当時高校 2 年生であった 31 名(実数 26 名)から、2026 年度入学試験において 8 名の志願があった。合格した 7 名全員が入学しており、本事業が入学意欲の醸成に大きく寄与した。
- オープンキャンパスは、従来の夏季、秋季に加えて春季にも開催し、合計 5 日間実施した。来場者数は 1,902 名となり、前年度(1,614 名)比で 117.8%と大幅に増加した。あわせて、SNS や YouTube チャンネル「ききょう TV」を活用した広報展開を強化し、多角的な情報発信に努めた。
- 高大接続における「入学前教育」の重要性が高まる中、12 月から翌 3 月にかけて全 8 回(約 2 週に 1 回ペース)のプログラムを実施した。受講対象者は、総合型選抜および学校推薦型選抜(指定校制と公募制・専願型)の合格者(以上は参加必須)に、学校推薦型 公募制・併願型の希望者を加えた計 111 名である。定期的な教育機会の提供により、入学までの学習習慣の維持と学修意欲の向上を図った。

■ KPI 達成状況

- ・ 入学試験出願者数前年比 92.5%(1,573 名／前年度 1,701 名)
- ・ 減少要因としては、一般選抜後期(前年度志願者 94 名)の廃止による影響が大きい。
- ・ 入学定員の多い学校推薦型選抜 公募制は前年比 101.7%、一般選抜 A 日程は前年比 100.2%と健闘した。

7. 広報・地域連携・生涯研修・その他の事業

(2025 年度事業計画より)

地域連携事業においては「くすりと健康セミナー」「健康サポートセミナー」「メディカルカフェ」「パーキンソンカレッジ」など多彩なプログラムを展開し、地域社会への大学の貢献を強化します。また、東灘次世代医療人材育成コンソーシアム共催事業として 7 月開催予定の「健康サポートセミナー」を公開市民講座として実施します。

生涯研修においては、対面開催講座・e-learning 講座ともに充実させ、最も大きなイベントである「卒後研修講座」はハイブリッド開催とすることで遠方者含む幅広い層へ訴求します。また、グループディスカッションを通じた「症例検討会」や「薬剤師実践塾」等の実習・実践・実技の講座を実施します。

国際交流においては、一昨年度より再開した海外薬学研修(アリゾナ研修)に加え、新たにカリフォルニア研修を実施することで交流を更に活発化させるとともに、米国以外の渡航プログラムについて検討します。

広報活動においては、2024 年度にオープンした新教育棟(A 棟)を素材とした広報活動を昨年度に引き続き Web 広告を中心に行います。また、あらゆる媒体を使った広報展開の一環として、2024 年 4 月に開始した学生広報サポーターによる大学公式インスタグラムの充実及び 2023 年 10 月にスタートした YouTube による情報発信プログラム「ききょう TV」の発展に取り組みます。

教職員の「SD 研修会」も定期的に実施し、教職員の資質向上、コンプライアンス遵守、ハラスメント防止、IT 化推進、働き方改革に励みます。そして、今後も教員公募の際は、積極的な女性採用に努め、専任教員教授の女性比率の遵守に取り組めます。

「重要業績評価指標(Key Performance Indicator)」設定

専任教員教授の女性比率 25%以上

(2025 年 4 月 1 日の専任教員教授の男女比 男:女 23 人:11 人 68%:32%)

■ 地域貢献

「健康サポートセミナー」等の多彩なプログラムを通じ、地域住民の健康増進に寄与した。特に「知って安心！おくすり基礎講座」を正式なセミナーとして開催したことで、より幅広い層への地域貢献を実現した。

■ 生涯研修

- ・ 「卒後研修講座」は対面と Zoom 配信のハイブリッド形式で実施した。受講者数は 101 名(前年度比 83.4%)となったものの、近畿圏以外の受講者が全体の約 1 割を占めるなど、オンライン活用によって広域からの受講者を獲得できた。
- ・ コロナ禍によって中断していた在宅医療を支援する指導薬剤師養成プログラムを『地域医療多職種連携に積極的に関わる薬剤師養成プログラム』へと刷新して再開し、定員 5 名に対し 4 名が受講中である。
- ・ 認定薬剤師認定証の交付数は、「生涯研修認定制度」(G07)において新規 5 件、更新 40 件、「健康食品領域研修認定薬剤師制度」(P05)において新規 0 件、更新 3 件であった。

■ 国際交流

タイのナレースワン大学への学生派遣を計画しており、国際交流協定の締結に向けて準備を進めている。

■ 広報

- ・ Instagram ではフィード・ストーリーの投稿(計 58 件)を実施し、フォロワー数は 210 アカウント増と着実に伸張した。
- ・ YouTube では横動画(19 本)、縦動画(42 本)、計 61 本の動画を投稿し、チャンネル登録数は 202 アカウント増加した。特に注力した縦動画(ショート動画)により、総視聴回数は 137,544 回(前年度比 130.1%)と大幅に伸張した。一方で、再生時間は 1671.9 時間(同 54.0%)となったが、これはショート動画(1 本 1 分以内))へのシフトによる視聴スタイルの変化を反映したものである。

■ SD 研修

2025 年 10 月に学長を講師としてハラスメント研修会を開催した。対面及び録画視聴を合わせて全教職員が受講し、受講率 100%を達成した。

■ ダイバーシティ推進

教員公募における積極的な女性採用を継続し、2026 年度からの女性准教授の採用を決定した。

■ KPI 達成状況:

専任教員教授の女性比率 32%

以上

Ⅲ 財務の概要

1. 事業の予算執行

2025 年度予算の執行にあたっては、従来に引き続き効率的な予算執行と節約に努めた。経常的事業以外に、2025 年度に執行した新規事業の主なものは次のとおりである。

・ 1 号館解体工事・土壌汚染処理	930,176 千円
・ 1 号館跡地整備（神薬ガーデン）	209,452 千円
・ R I 空調設備工事	99,997 千円
・ コンピュータ演習室 P C 更新	74,857 千円
・ G 301・G 302 電子黒板設置	35,640 千円
・ 図書館システム更新	28,508 千円
・ 事務職員用 P C 更新	20,693 千円
・ 学内危険箇所修繕	17,000 千円
・ サーバ機器更新	14,854 千円
・ 正門下エスカレータ工事	12,218 千円

2. 法人会計決算

（1）資金収支計算書

収入面では、手数料収入、寄付金収入が予算額を下回ったが、学生生徒等納付金収入、補助金収入、付随事業・収益事業収入、受取利息・配当金収入、雑収入が予算額を上回ったため、前年度繰越支払資金を含む収入の合計は 6,098 百万円と予算額を 435 百万円上回った。支出面では、1 号館解体工事・土壌汚染処理費用が当初想定額を下回り、教育研究経費支出が予算額を下回ったことその他、支出項目について予算執行の見直しや経費節減に努めた結果、翌年度繰越支払資金を除く支出の合計は 4,558 百万円と予算額を 541 百万円下回った。その結果、翌年度繰越支払資金は予算額を 976 百万円上回る 1,540 百万円となった。

（2）事業活動収支計算書

教育活動収支差額は 1 号館解体工事・土壌汚染処理費用 930 百万円の計上という特殊要因により 452 百万円の支出超過となったため、教育活動外収支差額は 67 百万円の収入超過であったが、経常収支差額は 385 百万円の支出超過となった。また、特別収支差額も 1 号館解体に伴う処分差額の計上を主因に 131 百万円の支出超過となり、経常収支差額に特別収支差額を加えた基本金組入前当年度収支差額は 516 百万円の支出超過となった。また、基本金組入額・取崩額については、神薬ガーデン他の資産取得に伴う基本金組入を 1 号館解体に伴う資産処分に伴う基本金取崩が大きく上回り 1,305 百万円の基本金取崩額を計上、さらに前年度繰越収支差額 1,376 百万円を加えた最終的な翌年度繰越収支差額は 2,165 百万円の収入超過となった。

（3）貸借対照表

資産については、有形固定資産は神薬ガーデン他の資産計上があるが、減価償却の進捗により 208 百万円減少、特定資産は神薬ガーデンに対応するための第 2 号基本金特定資産取崩などがあり 294 百万円減少、流動資産は 72 百万円増加したが、資産全体で 430 百万円減少し 26,890 百万円となった。負債については、未払金の増加により 86 百万円増加し 1,499 百万円となった。純資産額は、1 号館解体に伴う第 1 号基本金の取崩の影響により 516 百万円減少し 25,392 百万円となった。

貸 借 対 照 表

第一号様式（第22条関係）

2026年 3月31日

（単位 円）

資産の部			
科 目	本年度末	前年度末	増 減
固定資産	25,154,940,989	25,656,551,974	△ 501,610,985
有形固定資産	13,941,750,044	14,149,511,049	△ 207,761,005
土地	700,025,026	700,025,026	0
建物	11,668,552,895	12,127,397,373	△ 458,844,478
構築物	905,331,219	366,456,793	538,874,426
教育研究用機器備品	486,464,297	470,981,955	15,482,342
管理用機器備品	82,036,004	72,317,264	9,718,740
図書	99,340,603	98,170,838	1,169,765
建設仮勘定	0	314,161,800	△ 314,161,800
特定資産	11,208,020,908	11,501,870,888	△ 293,849,980
第2号基本金引当特定資産	533,000,000	733,000,000	△ 200,000,000
第3号基本金引当特定資産	965,350,472	963,555,728	1,794,744
減価償却引当特定資産	7,877,212,504	7,977,212,504	△ 100,000,000
第4号基本金引当特定資産	248,834,000	248,834,000	0
退職給与引当特定資産	728,923,932	747,568,656	△ 18,644,724
研究充実準備積立金	130,700,000	105,700,000	25,000,000
教育充実準備積立金	720,000,000	720,000,000	0
奨学金引当特定資産	4,000,000	6,000,000	△ 2,000,000
その他の固定資産	5,170,037	5,170,037	0
電話加入権	1,325,117	1,325,117	0
有価証券	3,844,920	3,844,920	0
流動資産	1,735,395,400	1,663,569,919	71,825,481
現金預金	1,539,530,821	1,657,133,199	△ 117,602,378
未収入金	188,333,694	4,144,460	184,189,234
前払金	7,530,885	2,292,260	5,238,625
資産の部合計	26,890,336,389	27,320,121,893	△ 429,785,504
負債の部			
科 目	本年度末	前年度末	増 減
固定負債	738,143,932	747,568,656	△ 9,424,724
退職給与引当金	728,923,932	747,568,656	△ 18,644,724
役員等退任謝礼引当金	9,220,000	0	9,220,000
流動負債	760,489,214	664,630,780	95,858,434
未払金	161,180,873	46,682,976	114,497,897
前受金	401,405,020	479,178,220	△ 77,773,200
預り金	140,043,321	138,769,584	1,273,737
賞与引当金	57,860,000	0	57,860,000
負債の部合計	1,498,633,146	1,412,199,436	86,433,710
純資産の部			
科 目	本年度末	前年度末	増 減
基本金	23,226,411,428	24,531,979,385	△ 1,305,567,957
第1号基本金	21,479,226,956	22,586,589,657	△ 1,107,362,701
第2号基本金	533,000,000	733,000,000	△ 200,000,000
第3号基本金	965,350,472	963,555,728	1,794,744
第4号基本金	248,834,000	248,834,000	0
繰越収支差額	2,165,291,815	1,375,943,072	789,348,743
翌年度繰越収支差額	2,165,291,815	1,375,943,072	789,348,743
純資産の部合計	25,391,703,243	25,907,922,457	△ 516,219,214
負債及び純資産の部合計	26,890,336,389	27,320,121,893	△ 429,785,504

事業活動収支計算書

2025年 4月 1日 から

2026年 3月31日 まで

第二号様式（第31条関係）

（単位 円）

	科 目	予 算	決 算	差 異
事業活動収入の部	学生生徒等納付金	3,349,700,000	3,478,865,300	△ 129,165,300
	授業料	3,073,000,000	3,165,465,300	△ 92,465,300
	入学金	136,700,000	150,400,000	△ 13,700,000
	施設設備費	140,000,000	163,000,000	△ 23,000,000
	手数料	67,100,000	59,543,780	7,556,220
	入学検定料	58,600,000	50,085,000	8,515,000
	試験料	5,200,000	5,936,000	△ 736,000
	証明手数料	200,000	164,000	36,000
	センター入試手数料	2,500,000	2,916,280	△ 416,280
	エクステンションセンター手数料	600,000	442,500	157,500
	寄付金	30,000,000	24,278,000	5,722,000
	特別寄付金	4,000,000	3,100,000	900,000
	一般寄付金	26,000,000	21,178,000	4,822,000
	経常費等補助金	320,200,000	456,068,940	△ 135,868,940
	経常費国庫補助金	250,000,000	229,562,000	20,438,000
	その他国庫補助金	70,000,000	226,218,300	△ 156,218,300
	地方公共団体等補助金	200,000	288,640	△ 88,640
	付随事業収入	36,900,000	65,400,518	△ 28,500,518
	補助活動収入	21,900,000	24,780,000	△ 2,880,000
	受託事業収入	15,000,000	40,620,518	△ 25,620,518
	雑収入	143,800,000	174,462,468	△ 30,662,468
	退職金財団交付金	111,500,000	132,499,660	△ 20,999,660
	雑収入	32,300,000	41,962,808	△ 9,662,808
	教育活動収入計	3,947,700,000	4,258,619,006	△ 310,919,006
教育活動支出の部	科 目	予 算	決 算	差 異
	人件費	1,787,300,000	1,609,058,010	178,241,990
	教員人件費	1,084,330,000	937,221,968	147,108,032
	職員人件費	562,370,000	438,801,566	123,568,434
	賞与引当金繰入額	0	57,860,000	△ 57,860,000
	退職給与引当金繰入額	122,800,000	154,924,476	△ 32,124,476
	役員報酬	17,800,000	17,800,000	0
	役員等退任謝礼引当金繰入額	0	1,750,000	△ 1,750,000
	役員退任謝礼金	0	700,000	△ 700,000
	教育研究経費	2,918,270,000	2,752,148,315	166,121,685
	消耗品費	605,115,000	526,002,001	79,112,999
	光熱水費	186,090,000	164,440,775	21,649,225
	旅費交通費	31,650,000	12,958,501	18,691,499
	奨学費	153,800,000	274,328,300	△ 120,528,300
	設備費	200,938,000	177,450,817	23,487,183
	修繕費	10,110,000	4,198,237	5,911,763
	印刷製本費	12,400,000	6,163,391	6,236,609
	学生諸費	24,450,000	19,320,103	5,129,897
	教育諸費	1,144,417,000	1,015,368,265	129,048,735
	減価償却額	549,300,000	551,917,925	△ 2,617,925
	管理経費	411,700,000	349,207,128	62,492,872
	消耗品費	4,980,000	3,293,053	1,686,947
	光熱水費	14,600,000	11,356,187	3,243,813
	旅費交通費	8,560,000	5,131,850	3,428,150
	設備費	33,100,000	32,373,960	726,040
	修繕費	4,640,000	2,981,891	1,658,109
	通信費	7,250,000	4,390,096	2,859,904
	印刷費	16,760,000	16,799,831	△ 39,831
	保全清掃費	35,500,000	30,881,078	4,618,922
	広告費	45,900,000	37,314,485	8,585,515
	管理諸費	106,420,000	73,438,292	32,981,708
	補助活動費	13,090,000	10,415,476	2,674,524
	公租公課	3,500,000	3,364,792	135,208
	減価償却額	117,400,000	117,466,137	△ 66,137
	徴収不能額等	0	0	0
	教育活動支出計	5,117,270,000	4,710,413,453	406,856,547
	教育活動収支差額	△ 1,169,570,000	△ 451,794,447	△ 717,775,553

教育活動外収支	事業活動収入の部	科 目	予 算	決 算	差 異	
		受取利息・配当金	46,100,000	66,597,510	△ 20,497,510	
		第3号基本金引当特定資産運用収入	6,000,000	6,192,744	△ 192,744	
		その他の受取利息・配当金	40,100,000	60,404,766	△ 20,304,766	
		その他の教育活動外収入	0	0	0	
	教育活動外収入計	46,100,000	66,597,510	△ 20,497,510		
	事業活動支出の部	科 目	予 算	決 算	差 異	
		借入金等利息	0	0	0	
		その他の教育活動外支出	0	0	0	
教育活動外支出計		0	0	0		
教育活動外収支差額		46,100,000	66,597,510	△ 20,497,510		
経常収支差額			△ 1,123,470,000	△ 385,196,937	△ 738,273,063	
特別収支	事業活動収入の部	科 目	予 算	決 算	差 異	
		資産売却差額	0	0	0	
		その他の特別収入	0	75,713,486	△ 75,713,486	
		現物寄付	0	21,263,486	△ 21,263,486	
		施設設備補助金	0	54,450,000	△ 54,450,000	
		特別収入計	0	75,713,486	△ 75,713,486	
	事業活動支出の部	科 目	予 算	決 算	差 異	
		資産処分差額	136,300,000	138,555,763	△ 2,255,763	
		資産処分差額	136,300,000	138,555,763	△ 2,255,763	
		その他の特別支出	0	68,180,000	△ 68,180,000	
		過年度修正額	0	68,180,000	△ 68,180,000	
		特別支出計	136,300,000	206,735,763	△ 70,435,763	
	特別収支差額			△ 136,300,000	△ 131,022,277	△ 5,277,723
	〔予備費〕			20,000,000		20,000,000
	基本金組入前当年度収支差額			△ 1,279,770,000	△ 516,219,214	△ 763,550,786
	基本金組入額			0	0	0
当年度収支差額			△ 1,279,770,000	△ 516,219,214	△ 763,550,786	
前年度繰越収支差額			226,133,000	1,375,943,072	△ 1,149,810,072	
基本金取崩額			1,269,400,000	1,305,567,957	△ 36,167,957	
翌年度繰越収支差額			215,763,000	2,165,291,815	△ 1,949,528,815	
(参考)						
事業活動収入計			3,993,800,000	4,400,930,002	△ 407,130,002	
事業活動支出計			5,273,570,000	4,917,149,216	356,420,784	

資 金 収 支 計 算 書

第三号様式（第38条関係）

2025年 4月 1日 から
2026年 3月31日 まで

(単位 円)

収 入 の 部			
科 目	予 算	決 算	差 異
学生生徒等納付金収入	3,349,700,000	3,478,865,300	△ 129,165,300
授業料収入	3,073,000,000	3,165,465,300	△ 92,465,300
入学金収入	136,700,000	150,400,000	△ 13,700,000
施設設備費収入	140,000,000	163,000,000	△ 23,000,000
手数料収入	67,100,000	59,543,780	7,556,220
入学検定料収入	58,600,000	50,085,000	8,515,000
試験料収入	5,200,000	5,936,000	△ 736,000
証明手数料収入	200,000	164,000	36,000
センター入試手数料収入	2,500,000	2,916,280	△ 416,280
エクステンションセンター手数料収入	600,000	442,500	157,500
寄付金収入	30,000,000	24,278,000	5,722,000
特別寄付金収入	4,000,000	3,100,000	900,000
一般寄付金収入	26,000,000	21,178,000	4,822,000
補助金収入	320,200,000	510,518,940	△ 190,318,940
経常費国庫補助金収入	250,000,000	229,562,000	20,438,000
その他国庫補助金収入	70,000,000	280,668,300	△ 210,668,300
地方公共団体等補助金収入	200,000	288,640	△ 88,640
資産売却収入	0	0	0
付随事業・収益事業収入	36,900,000	65,400,518	△ 28,500,518
補助活動収入	21,900,000	24,780,000	△ 2,880,000
受託事業収入	15,000,000	40,620,518	△ 25,620,518
受取利息・配当金収入	46,100,000	66,597,510	△ 20,497,510
第3号基本金引当特定資産運用収入	6,000,000	6,192,744	△ 192,744
その他の受取利息・配当金収入	40,100,000	60,404,766	△ 20,304,766
雑収入	143,800,000	174,462,468	△ 30,662,468
退職金財団交付金収入	111,500,000	132,499,660	△ 20,999,660
雑収入	32,300,000	41,962,808	△ 9,662,808
借入金等収入	0	0	0
前受金収入	410,500,000	401,405,020	9,094,980
授業料等前受金収入	204,500,000	202,970,000	1,530,000
入学金前受金収入	136,000,000	129,600,000	6,400,000
施設設備費前受金収入	70,000,000	66,250,000	3,750,000
その他前受金収入	0	2,585,020	△ 2,585,020
その他の収入	442,000,000	327,336,658	114,663,342
第2号基本金引当特定資産取崩収入	200,000,000	200,000,000	0
引当特定資産取崩収入	241,000,000	120,644,724	120,355,276
前期末未収入金収入	1,000,000	4,144,460	△ 3,144,460
預り金受入収入	0	2,547,474	△ 2,547,474
資金収入調整勘定	△ 385,500,000	△ 667,511,914	282,011,914
期末未収入金	△ 1,000,000	△ 188,333,694	187,333,694
前期末前受金	△ 384,500,000	△ 479,178,220	94,678,220
前年度繰越支払資金	1,202,200,000	1,657,133,199	△ 454,933,199
収 入 の 部 合 計	5,663,000,000	6,098,029,479	△ 435,029,479

支 出 の 部			
科 目	予 算	決 算	差 異
人件費支出	1,820,000,000	1,628,802,734	191,197,266
教員人件費支出	1,084,330,000	978,881,968	105,448,032
職員人件費支出	562,370,000	454,811,566	107,558,434
退職金支出	155,500,000	177,309,200	△ 21,809,200
役員報酬支出	17,800,000	17,800,000	0
教育研究経費支出	2,368,970,000	2,200,230,390	168,739,610
消耗品費支出	605,115,000	526,002,001	79,112,999
光熱水費支出	186,090,000	164,440,775	21,649,225
旅費交通費支出	31,650,000	12,958,501	18,691,499
奨学費支出	153,800,000	274,328,300	△ 120,528,300
設備費支出	200,938,000	177,450,817	23,487,183
修繕費支出	10,110,000	4,198,237	5,911,763
印刷製本費支出	12,400,000	6,163,391	6,236,609
学生諸費支出	24,450,000	19,320,103	5,129,897
教育諸費支出	1,144,417,000	1,015,368,265	129,048,735
管理経費支出	294,300,000	231,740,991	62,559,009
消耗品費支出	4,980,000	3,293,053	1,686,947
光熱水費支出	14,600,000	11,356,187	3,243,813
旅費交通費支出	8,560,000	5,131,850	3,428,150
設備費支出	33,100,000	32,373,960	726,040
修繕費支出	4,640,000	2,981,891	1,658,109
通信費支出	7,250,000	4,390,096	2,859,904
印刷費支出	16,760,000	16,799,831	△ 39,831
保全清掃費支出	35,500,000	30,881,078	4,618,922
広告費支出	45,900,000	37,314,485	8,585,515
管理諸費支出	106,420,000	73,438,292	32,981,708
補助活動費支出	13,090,000	10,415,476	2,674,524
公租公課支出	3,500,000	3,364,792	135,208
借入金等利息支出	0	0	0
借入金等返済支出	0	0	0
施設関係支出	243,900,000	277,847,815	△ 33,947,815
建物支出	33,900,000	28,340,680	5,559,320
構築物支出	210,000,000	563,668,935	△ 353,668,935
建設仮勘定支出	0	△ 314,161,800	314,161,800
設備関係支出	324,200,000	301,067,519	23,132,481
教育研究用機器備品支出	112,700,000	99,542,431	13,157,569
教育研究用設備支出	185,300,000	182,981,097	2,318,903
管理用機器備品支出	21,200,000	16,876,930	4,323,070
図書支出	5,000,000	1,667,061	3,332,939
資産運用支出	25,000,000	26,794,744	△ 1,794,744
第3号基本金引当特定資産繰入支出	0	1,794,744	△ 1,794,744
研究充実準備積立金繰入支出	25,000,000	25,000,000	0
その他の支出	46,700,000	55,487,598	△ 8,787,598
前期末未払金支払支出	41,000,000	46,682,976	△ 5,682,976
預り金支払支出	0	1,273,737	△ 1,273,737
前払金支払支出	5,700,000	7,530,885	△ 1,830,885
〔予備費〕	20,000,000		20,000,000
資金支出調整勘定	△ 43,300,000	△ 163,473,133	120,173,133
期末未払金	△ 41,000,000	△ 161,180,873	120,180,873
前期末前払金	△ 2,300,000	△ 2,292,260	△ 7,740
翌年度繰越支払資金	563,230,000	1,539,530,821	△ 976,300,821
支 出 の 部 合 計	5,663,000,000	6,098,029,479	△ 435,029,479

活動区分資金収支計算書

2025年 4月 1日 から
2026年 3月31日 まで

第四号様式（第39条関係）

（単位 円）

		科 目	金額
教育活動による資金収支	収入	学生生徒等納付金収入	3,478,865,300
		手数料収入	59,543,780
		特別寄付金収入	3,100,000
		一般寄付金収入	21,178,000
		経常費等補助金収入	456,068,940
		付随事業収入	65,400,518
		雑収入	174,462,468
		教育活動資金収入計	4,258,619,006
	支出	人件費支出	1,628,802,734
		教育研究経費支出	2,200,230,390
		管理経費支出	231,740,991
		教育活動資金支出計	4,060,774,115
		差引	197,844,891
		調整勘定等	△ 194,806,463
		教育活動資金収支差額	3,038,428
施設整備等活動による資金収支	収入	施設設備寄付金収入	0
		施設設備補助金収入	54,450,000
		施設設備売却収入	0
		第2号基本金引当特定資産取崩収入	200,000,000
		減価償却引当特定資産取崩収入	100,000,000
		施設整備等活動資金収入計	354,450,000
	支出	施設関係支出	277,847,815
		設備関係支出	301,067,519
		施設整備等活動資金支出計	578,915,334
		差引	△ 224,465,334
		調整勘定等	42,103,301
		施設整備等活動資金収支差額	△ 182,362,033
		小計(教育活動資金収支差額+施設整備等活動資金収支差額)	△ 179,323,605
その他の活動による資金収支	収入	借入金等収入	0
		退職給与引当特定資産取崩収入	18,644,724
		奨学金引当特定資産取崩収入	2,000,000
		預り金受入収入	2,547,474
		小計	23,192,198
		受取利息・配当金収入	66,597,510
		その他の活動資金収入計	89,789,708
	支出	借入金等返済支出	0
		第3号基本金引当特定資産繰入支出	1,794,744
		研究充実準備積立金繰入支出	25,000,000
		預り金支払支出	1,273,737
		小計	28,068,481
		借入金等利息支出	0
		その他の活動資金支出計	28,068,481
		差引	61,721,227
		調整勘定等	0
		その他の活動資金収支差額	61,721,227
		支払資金の増減額(小計+その他の活動資金収支差額)	△ 117,602,378
		前年度繰越支払資金	1,657,133,199
		予備費	0
		翌年度繰越支払資金	1,539,530,821

活動区分ごとの調整勘定等の計算過程は以下のとおり。

(単位 円)

項目	資金収支計算書計上額	教育活動による資金収支	施設整備等活動による資金収支	その他の活動による資金収支
授業料等前受金収入	202,970,000	202,970,000	0	0
入学金前受金収入	129,600,000	129,600,000	0	0
施設設備費前受金収入	66,250,000	66,250,000	0	0
その他前受金収入	2,585,020	2,585,020	0	0
前期末未収入金収入	4,144,460	4,144,460	0	0
期末未収入金	△ 188,333,694	△ 133,883,694	△ 54,450,000	0
前期末前受金	△ 479,178,220	△ 479,178,220	0	0
収入計	△ 261,962,434	△ 207,512,434	△ 54,450,000	0
前期末未払金支払支出	46,682,976	36,697,176	9,985,800	0
前払金支払支出	7,530,885	7,530,885	0	0
期末未払金	△ 161,180,873	△ 54,641,772	△ 106,539,101	0
前期末前払金	△ 2,292,260	△ 2,292,260	0	0
支出計	△ 109,259,272	△ 12,705,971	△ 96,553,301	0
収入計 - 支出計	△ 152,703,162	△ 194,806,463	42,103,301	0

注記 1. 重要な会計方針

引当金の計上基準

徴収不能引当金

未収入金の徴収不能に備えるため、個別に見積もった徴収不能見込額を計上している。

賞与引当金

教職員に対する賞与の支給に備えるため、当年度に負担すべき支給見込額を計上している。

退職給与引当金

退職金の支給に備えるため、期末要支給額 819,600,000 円の100%を基にして、私立大学退職金財団に対する掛金の累計額と交付金の累計額との繰入れ調整額を加減した金額を計上している。

役員等退任謝礼引当金

役員（理事・監事）及び評議員に対する退任謝礼金の支給に備えるため、当年度に負担すべき支給見込額を計上している。

2. 重要な会計方針の変更等

改正後の学校法人会計基準（昭和46年文部省令第18号）の適用

当年度から、学校法人会計基準の一部を改正する省令（令和6年文部科学省令第28号）に基づく改正後の学校法人会計基準を適用し、計算書類及びその附属明細書の様式を変更している。

賞与引当金及び役員等退任謝礼引当金の計上

学校法人会計基準の改正により、引当金の計上基準が明確化されたことに伴い当年度から計上している。

3. 減価償却額の累計額の合計額 7,606,565,074 円

4. 徴収不能引当金の合計額 0 円

5. 担保に供されている資産はない。

6. 翌会計年度以後の会計年度において基本金への組入れを行うこととなる金額 69,088,162 円

7. 当該会計年度の末日において第4号基本金に相当する資金を有していない場合のその旨と対策
第4号基本金に相当する資金を有しており、該当しない。

8. セグメント情報

設定すべきセグメントが、セグメント「その他」以外に一のみであるため省略している。

9. 重要な偶発債務 なし

10. 子会社に関する事項 なし

11. 学校法人の出資による会社に係る事項 なし

12. 関連当事者との取引の内容に関する事項 なし

13. 学校法人間の財務取引 なし

14. 重要な後発事象 なし

15. その他財政及び経営の状況を正確に判断するために必要な事項

有価証券の時価情報

① 総括表

（単位 円）

	当年度（2026年3月31日）		
	貸借対照表計上額	時 価	差 額
時価が貸借対照表計上額を超えるもの	3,844,920	26,218,083	22,373,163
（うち満期保有目的の債券）	（ 0 ）	（ 0 ）	（ 0 ）
時価が貸借対照表計上額を超えないもの	10,299,850,000	9,829,020,000	△ 470,830,000
（うち満期保有目的の債券）	（ 10,299,850,000 ）	（ 9,829,020,000 ）	（ △ 470,830,000 ）
合 計	10,303,694,920	9,855,238,083	△ 448,456,837
（うち満期保有目的の債券）	（ 10,299,850,000 ）	（ 9,829,020,000 ）	（ △ 470,830,000 ）
時価のない有価証券	0		
有価証券合計	10,303,694,920		

② 明細表

(単位 円)

種類	当年度（2026年3月31日）		
	貸借対照表計上額	時 価	差 額
債券	10,299,850,000	9,829,020,000	△ 470,830,000
株式	3,844,920	26,218,083	22,373,163
投資信託	0	0	0
貸付信託	0	0	0
その他	0	0	0
合 計	10,303,694,920	9,855,238,083	△ 448,456,837
時価のない有価証券	0		
有価証券合計	10,303,694,920		

3. 財務運営の状況

当法人の過年度の財務運営の状況及び主要財務比率は以下のとおりである。

(1) 財務運営の状況

- ・貸借対照表 (P32)
- ・事業活動収支の状況 (P33)
- ・資金収支の状況 (P34)
- ・活動区分資金収支の状況 (P35)

(2) 財務比率表 (P36)

(3) 財務比率を用いた経営状況の分析 (P37)

(4) 財産目録 (P38)

資産の部					
科 目	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
固定資産 (a)	25,424,816	25,403,173	25,565,514	25,656,552	25,154,941
有形固定資産	11,397,466	11,560,758	14,435,691	14,149,511	13,941,750
うち、土地	700,025	700,025	700,025	700,025	700,025
うち、建物	8,712,938	8,127,252	12,628,758	12,127,397	11,668,552
うち、構築物	277,984	255,987	393,735	366,457	905,331
うち、教育研究用機器備品	622,450	567,769	536,582	470,982	486,464
特定資産	14,021,982	13,837,047	11,124,652	11,501,871	11,208,021
うち、減価償却引当特定資産	7,625,364	7,127,213	7,327,213	7,977,213	7,877,212
その他の固定資産	5,368	5,368	5,170	5,170	5,170
流動資産 (b)	1,498,038	1,938,916	1,695,050	1,663,570	1,735,395
うち、現金預金	1,455,276	1,522,591	1,116,433	1,657,133	1,539,530
うち、有価証券	0	0	0	0	0
合 計 (a+b)	26,922,855	27,342,089	27,260,564	27,320,122	26,890,336
減価償却額の累計額の合計額	8,788,994	7,806,051	7,971,323	8,446,924	7,606,565
負債及び純資産の部					
科 目	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
負債 (c)	1,471,930	2,014,441	1,528,313	1,412,200	1,498,633
固定負債	797,892	785,011	746,395	747,569	738,144
うち、長期借入金	0	0	0	0	0
うち、退職給与引当金	797,892	785,011	746,395	747,569	728,924
流動負債	674,038	1,229,430	781,918	664,631	760,489
うち、前受金	448,293	410,534	474,364	479,178	401,405
うち、賞与引当金	0	0	0	0	57,860
純資産 (d)	25,450,924	25,327,648	25,732,251	25,907,922	25,391,703
基本 本 金	25,026,486	23,913,833	24,559,332	24,531,979	23,226,411
第1号基本金	20,186,461	18,771,710	22,315,689	22,586,589	21,479,227
第2号基本金	3,633,000	3,933,000	1,033,000	733,000	533,000
第3号基本金	958,191	960,289	961,809	963,556	965,350
第4号基本金	248,834	248,834	248,834	248,834	248,834
繰越収支差額	424,437	1,413,815	1,172,919	1,375,943	2,165,292
翌年度繰越収支差額	424,437	1,413,815	1,172,919	1,375,943	2,165,292
合 計 (c+d)	26,922,855	27,342,089	27,260,564	27,320,122	26,890,336
基本金未組入額	0	595,100	91,326	9,845	69,088

財務運営の状況 : 事業活動収支の状況 - 神戸薬科大学 - (単位: 千円)

科 目			2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
教育活動収支	事業活動収入の部	学生生徒等納付金	3,187,496	3,260,134	3,205,183	3,375,231	3,478,865
		手数料	87,475	80,513	68,973	64,404	59,544
		寄付金	29,790	24,398	46,613	51,035	24,278
		経常費等補助金	326,700	320,169	320,056	307,203	456,069
		付随事業収入	37,590	47,422	59,713	50,288	65,401
		雑収入	67,961	126,298	192,080	73,994	174,462
		教育活動収入計	3,737,012	3,858,934	3,892,618	3,922,155	4,258,619
	事業活動支出の部	人件費	1,538,586	1,581,856	1,563,840	1,485,977	1,609,058
		教育研究経費	1,662,127	1,766,220	1,499,331	1,957,000	2,752,148
		管理経費	314,615	361,151	323,974	357,347	349,207
		徴収不能額等	0	0	0	0	0
		教育活動支出計	3,515,328	3,709,227	3,387,145	3,800,324	4,710,413
教育活動収支差額		221,684	149,707	505,474	121,831	△451,794	
教育活動外収支	事業活動収入の部	受取利息・配当金	41,266	41,074	39,112	46,892	66,597
		その他の教育活動外収入	0	0	0	0	0
		教育活動外収入計	41,266	41,074	39,112	46,892	66,597
	事業活動支出の部	借入金等利息	0	0	0	0	0
		その他の教育活動外支出	0	0	0	0	0
		教育活動外支出計	0	0	0	0	0
		教育活動外収支差額		41,266	41,074	39,112	46,892
経常収支差額		262,950	190,781	544,586	168,723	△385,197	
特別収支	事業活動収入の部	資産売却差額	3	0	19,602	0	0
		その他の特別収入	37,736	354,651	231,657	12,304	75,713
		特別収入計	37,739	354,651	251,259	12,304	75,713
	事業活動支出の部	資産処分差額	35,133	668,709	391,242	5,356	138,555
		その他の特別支出	0	0	0	0	68,180
		特別支出計	35,133	668,709	391,242	5,356	206,735
		特別収支差額		2,606	△314,058	△139,982	6,948
基本金組入前当年度収支差額		265,557	△123,277	404,604	175,671	△516,219	
基本金組入額合計		△383,090	1,112,654	△645,499	0	0	
当年度収支差額		△117,533	989,377	△240,896	175,671	△516,219	
前年度繰越収支差額		541,971	424,438	1,413,815	1,172,919	1,375,943	
基本金取崩額		0	0	0	27,353	1,305,568	
翌年度繰越収支差額		424,437	1,413,815	1,172,919	1,375,943	2,165,292	

過去5年間の財務比較

(単位：千円)

財務運営の状況：資金収支の状況

- 神戸薬科大学 -

科 目	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
収入の部	学生生徒等納付金収入	3,187,496	3,260,134	3,205,183	3,375,231
	手数料収入	87,475	80,513	68,973	64,404
	寄付金収入	29,790	24,398	46,613	51,035
	補助金収入	344,618	661,525	537,305	307,203
	資産売却収入	3	0	19,800	0
	付随事業・収益事業収入	37,590	47,422	59,713	50,288
	受取利息・配当金収入	41,266	41,074	39,112	46,892
	雑収入	67,961	126,298	192,080	73,994
	借入金等収入	0	0	0	0
	前受金収入	448,294	410,534	474,364	479,178
支出の部	その他の収入	41,081	1,251,828	3,012,249	872,472
	資金収入調整勘定	△	862,284	△	478,508
	前年度繰越支払資金	1,428,618	1,455,276	1,522,591	1,116,433
	合計	5,258,169	6,496,718	8,537,334	5,958,622
	人件費支出	1,539,587	1,594,737	1,602,456	1,484,803
	教育研究経費支出	1,173,027	1,276,934	1,070,928	1,397,416
	管理経費支出	218,363	267,796	239,078	236,716
	借入金等利息支出	0	0	0	0
	借入金等返済支出	0	0	0	0
	施設関係支出	98,081	1,289,439	3,561,237	316,512
支出の部	設備関係支出	122,531	111,907	203,996	70,574
	資産運用支出	628,001	1,028,946	227,222	678,219
	その他の支出	65,173	47,600	659,871	171,077
	資金支出調整勘定	△	643,232	△	53,828
	翌年度繰越支払資金	1,455,276	1,522,591	1,116,433	1,657,133
	合計	5,258,169	6,496,718	8,537,334	5,958,622

(単位：千円)

科 目		2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
教育活動による資金収支	収入					
	学生生徒等納付金収入	3,187,496	3,260,134	3,205,183	3,375,231	3,478,865
	手数料収入	87,475	80,513	68,973	64,404	59,544
	特別寄付金収入	5,000	4,000	4,000	6,000	3,100
	一般寄付金収入	24,790	20,398	42,613	45,035	21,178
	経常費等補助金収入	332,958	320,169	320,056	307,203	456,069
	付随事業収入	37,590	47,422	59,713	50,288	65,401
	雑収入	67,961	126,298	192,080	73,994	174,462
	教育活動資金収入計	3,743,270	3,858,934	3,892,618	3,922,155	4,258,619
	支出					
	人件費支出	1,539,587	1,594,737	1,602,456	1,484,803	1,628,803
	教育研究経費支出	1,173,027	1,276,934	1,070,928	1,397,416	2,200,230
	管理経費支出	218,363	267,796	239,078	236,716	231,741
	教育活動資金支出計	2,930,977	3,139,467	2,912,462	3,118,935	4,060,774
差引	812,293	719,466	980,156	803,220	197,845	
調整勘定等	6,628	△ 86,433	129,789	4,296	△ 194,807	
教育活動資金収支差額	818,920	633,033	1,109,946	807,516	3,038	
施設整備等活動による資金収支	収入					
	施設設備寄付金収入	0	0	0	0	0
	施設設備補助金収入	11,660	341,356	217,249	0	54,450
	施設設備売却収入	0	0	19,800	0	0
	第2号基本金引当特定資産取崩収入	0	0	2,900,000	300,000	200,000
	減価償却引当特定資産取崩収入	0	1,200,000	0	0	100,000
	施設整備等活動資金収入計	11,660	1,541,356	3,137,049	300,000	354,450
	支出					
	施設関係支出	98,081	1,289,439	3,561,237	316,512	277,848
	設備関係支出	122,531	111,907	203,996	70,574	301,067
	第2号基本金引当特定資産繰入支出	300,000	300,000	0	0	0
	減価償却引当特定資産繰入支出	300,000	701,848	200,000	650,000	0
	施設整備等活動資金支出計	820,612	2,403,194	3,965,233	1,037,087	578,915
	差引	△ 808,952	△ 861,838	△ 828,184	△ 737,087	△ 224,465
調整勘定等	6,479	275,024	△ 724,949	477,829	42,103	
施設整備等活動資金収支差額	△ 802,473	△ 586,814	△ 1,553,133	△ 259,258	△ 182,362	
小計(教育活動資金収支差額＋施設整備等活動資金収支差額)		16,447	46,218	△ 443,187	548,258	△ 179,324
その他の活動による資金収支	収入					
	借入金等収入	0	0	0	0	0
	有価証券売却収入	3	0	0	0	0
	退職給与引当特定資産取崩収入	1,001	12,881	38,617	0	18,645
	研究充実準備積立金取崩収入	11,000	0	0	0	0
	奨学金引当特定資産取崩収入	1,000	1,000	1,000	1,000	2,000
	預り金受入収入	0	0	0	0	2,547
	小計	13,004	13,881	39,617	1,000	23,192
	受取利息・配当金収入	41,266	41,074	39,112	46,892	66,597
	その他の活動資金収入計	54,270	54,955	78,729	47,892	89,789
	支出					
	借入金等返済支出	0	0	0	0	0
	第3号基本金引当特定資産繰入支出	2,001	2,098	1,520	1,746	1,795
	退職給与引当特定資産繰入支出	0	0	702	472	0
	研究充実準備積立金繰入支出	25,000	25,000	25,000	25,000	25,000
	奨学金引当特定資産繰入支出	1,000	0	0	1,000	0
	預り金支払支出	16,058	6,761	14,478	27,232	1,273
	小計	44,059	33,859	41,700	55,450	28,068
	借入金等利息支出	0	0	0	0	0
	その他の活動資金支出計	44,059	33,859	41,700	55,450	28,068
差引	10,211	21,097	37,029	△ 7,558	61,721	
調整勘定等	0	0	0	0	0	
その他の活動資金収支差額	10,211	21,097	37,029	△ 7,558	61,721	
支払資金の増減額(小計＋その他の活動資金収支差額)		26,659	67,315	△ 406,158	540,700	△ 117,602
前年度繰越支払資金		1,428,618	1,455,276	1,522,591	1,116,433	1,657,133
翌年度繰越支払資金		1,455,276	1,522,591	1,116,433	1,657,133	1,539,531

財務比率表 - 神戸薬科大学 -

(単位：%)

区 分			2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	
貸借対照表関係比率	1	固定資産構成比率	固定資産 総資産	94.4	92.9	93.8	93.9	93.5
	2	有形固定資産構成比率	有形固定資産 総資産	42.3	42.3	53.0	51.8	51.8
	3	特定資産構成比率	特定資産 総資産	52.1	50.6	40.8	42.1	41.7
	4	流動資産構成比率	流動資産 総資産	5.6	7.1	6.2	6.1	6.5
	5	固定負債構成比率	固定負債 負債＋純資産	3.0	2.9	2.7	2.7	2.7
	6	流動負債構成比率	流動負債 負債＋純資産	2.5	4.5	2.9	2.4	2.8
	7	内部留保資産比率	運用資産－総負債 総資産	52.0	48.8	39.3	43.0	41.8
	8	運用資産余裕比率	運用資産－外部負債 事業活動支出	435.0	336.4	320.3	344.6	256
	9	純資産構成比率	純資産 負債＋純資産	94.5	92.6	94.4	94.8	94.4
	10	繰越収支差額構成比率	繰越収支差額 負債＋純資産	1.6	5.2	4.3	5.0	8.1
	11	固定比率	固定資産 純資産	99.9	100.3	99.4	99.0	99.1
	12	固定長期適合率	固定資産 純資産＋固定負債	96.9	97.3	96.6	96.3	96.3
	13	流動比率	流動資産 流動負債	222.2	157.7	216.8	250.3	228.2
	14	総負債比率	総負債 総資産	5.5	7.4	5.6	5.2	5.6
	15	負債比率	総負債 純資産	5.8	8.0	5.9	5.5	5.9
	16	前受金保有率	現金預金 前受金	324.6	370.9	235.4	345.8	383.5
	17	退職給与引当特定資産保有率	退職給与引当特定資産 退職給与引当金	100.0	100.0	100.1	100	100
	18	基本金比率	基本金 基本金要組入額	100.0	97.6	99.6	99.9	99.7
	19	減価償却比率	減価償却累計額（図書を除く） 減価償却資産取得価額（図書を除く）	47.6	46.4	36.9	39.3	36.7
	20	積立率	運用資産 要積立額	109.2	113.9	114.3	120.9	129.7
事業活動収支計算書関係比率	1	人件費比率	人件費 経常収入	40.7	40.6	39.8	37.4	37.2
	2	人件費依存率	人件費 学生生徒等納付金	48.3	48.5	48.8	44.0	46.3
	3	教育研究経費比率	教育研究経費 経常収入	44.0	45.3	38.1	49.3	63.6
	4	管理経費比率	管理経費 経常収入	8.3	9.3	8.2	9.0	8.1
	5	借入金等利息比率	借入金等利息 経常収入	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	6	事業活動収支差額比率	基本金組入前当年度収支差額 事業活動収入	7.0	△ 2.9	9.7	4.4	△ 11.7
	7	基本金組入後収支比率	事業活動支出 事業活動収入－基本金組入額	103.4	81.6	106.8	95.6	111.7
	8	学生生徒等納付金比率	学生生徒等納付金 経常収入	84.4	83.6	81.5	85.0	80.4
	9	寄付金比率	寄付金 事業活動収入	1.3	0.9	1.5	1.6	1.0
	10	経常寄付金比率	教育活動収支の寄付金 経常収入	0.8	0.6	1.2	1.3	0.6
	11	補助金比率	補助金 事業活動収入	9.0	15.5	12.8	7.7	11.6
	12	経常補助金比率	教育活動収支の補助金 経常収入	8.6	8.2	8.1	7.7	10.5
	13	基本金組入率	基本金組入額 事業活動収入	10.0	△ 26.2	15.4	0.0	0.0
	14	減価償却額比率	減価償却額 経常支出	16.7	15.7	15.2	17.9	14.2
	15	経常収支差額比率	経常収支差額 経常収入	7.0	4.9	13.9	4.3	△ 8.9
	16	教育活動収支差額比率	教育活動収支差額 教育活動収入計	5.9	3.9	13.0	3.1	△ 10.6
活動区分資金収支計算書関係比率								
1	教育活動資金収支差額比率	教育活動資金収支差額 教育活動資金収入計	21.9	16.4	28.5	20.6	0.1	

(注) 経常収入＝教育活動収入計＋教育活動外収入計
 経常支出＝教育活動支出計＋教育活動外支出計
 教育活動資金収支差額＝教育活動資金収入計－教育活動資金支出計＋教育活動調整勘定等
 運用資産＝特定資産＋有価証券（固定資産）＋有価証券（流動資産）＋現金預金
 外部負債＝借入金＋学校債＋未払金＋手形債務
 要積立額＝減価償却累計額＋退職給与引当金＋第2号基本金＋第3号基本金

財務比率を用いた経営分析

(単位：％)

区分			2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	薬系単科大学平均 (2024年度)
貸 借 対 照 表	① 純資産構成比率	$\frac{\text{純資産}}{\text{総負債} + \text{純資産}}$	94.5	92.6	94.4	94.8	94.4	93.7
	② 流動比率	$\frac{\text{流動資産}}{\text{流動負債}}$	222.2	157.7	216.8	250.3	228.2	262.1
	③ 負債比率	$\frac{\text{総負債}}{\text{純資産}}$	5.8	8.0	5.9	5.5	5.9	6.7
	④ 基本金比率	$\frac{\text{基本金}}{\text{基本金要組入額}}$	100	97.6	99.6	99.9	99.7	—
事 業 活 動 収 支 関 係	⑤ 人件費比率	$\frac{\text{人件費}}{\text{経常収入}}$	40.7	40.6	39.8	37.4	37.2	37.3
	⑥ 教育研究経費比率	$\frac{\text{教育研究経費}}{\text{経常収入}}$	44	45.3	38.1	49.3	63.6	45.6
	⑦ 事業活動収支差額比率	$\frac{\text{基本金組入前当年度収支差額}}{\text{事業活動収入}}$	7	-2.9	9.7	4.4	-11.7	7.0
	⑧ 学生生徒等納付金比率	$\frac{\text{学生生徒等納付金}}{\text{経常収入}}$	84.4	83.6	81.5	85.0	80.4	85.5

(注) 経常収入＝教育活動収入計＋教育活動外収入計

- ① 純資産構成比率は、総負債及び純資産の合計額のうち、純資産の占める割合を示す比率であり、高いほうが財政的に安定しているとされている。本学は、薬系単科大学平均値を若干上回っており財政的に安定した状態にあるといえる。
- ② 流動比率は、流動負債に対する流動資産の割合を示す比率で、短期的な支払い能力を判断する指標である。本学は、薬系単科大学平均値をやや下回っているが問題ない水準である。
- ③ 負債比率は、純資産に対する総負債の割合を示す比率であり、100%以下かつ低いほうがよいとされている。本学は、薬系単科大学平均値を上回っており財政的に安定した状態にあるといえる。
- ④ 基本金比率は、基本金組入対象資産額である要組入額に対する組入済基本金の割合を示す比率で、100%が望ましいとされている。100%を下回っているが、過去5年間の推移はほぼ横ばいで安定しており、問題ない水準であるといえる。
- ⑤ 人件費比率は、人件費の経常収入に対する割合を示す比率であり、低いほうがよいとされている。本学は、ほぼ薬系大学平均値と同水準である。
- ⑥ 教育研究経費比率は、教育研究経費の経常収入に対する割合を示す比率である。教育研究経費は、学校法人の本業である教育研究活動の維持・発展を支える重要な費用であり、高いほうが望ましいとされている。本学は、前年度より大幅に上昇しているが、1号館解体工事、土壌汚染処理に伴う多額の経費計上があったため、それを除けば比率は、42.1%である。薬系単科大学平均値を若干下回るが問題ない水準である。
- ⑦ 事業活動収支差額比率は、事業活動収入のうち基本金組入前の当年度収支差額が占める割合を示す比率であり、プラスかつ高いほうがよいとされている。本学は、マイナスかつ薬系単科大学平均値を下回っているが、1号館解体工事・土壌汚染処理に伴う多額の経費の計上があり、特殊要因によるもので問題ない。
- ⑧ 学生生徒等納付金比率は、学生生徒等納付金の経常収入に占める割合を示す比率である。この収入は、学校法人の経常収入のなかで最大の比重を占めており安定的に推移することが望ましい。本学は、過去5年間概ね安定的に推移している。若干比率が低下しているが、補助金や受託事業収入など収入源の多様化によるものであり健全である。

財産目録

- 神戸薬科大学 -

(単位：千円)

科 目	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
固定資産	25,424,816	25,403,173	25,565,514	25,656,552	25,154,941
有形固定資産	11,397,466	11,560,758	14,435,691	14,149,511	13,941,750
土地	700,025	700,025	700,025	700,025	700,025
建物	8,712,938	8,127,252	12,628,758	12,127,397	11,668,553
構築物	277,984	255,987	393,735	366,457	905,331
教育研究用機器備品	622,450	567,769	536,582	470,982	486,464
管理用機器備品	71,367	62,771	80,252	72,317	82,036
図書	933,869	485,743	96,339	98,171	99,341
車両	374	0	0	0	0
建設仮勘定	78,458	1,361,212	0	314,162	0
特定資産	14,021,982	13,837,047	11,124,652	11,501,871	11,208,021
第2号基本金引当特定資産（教育環境整備資金）	2,600,000	2,900,000	1,000,000	700,000	500,000
〃（大型機器充実資金）	33,000	33,000	33,000	33,000	33,000
〃（施設設備整備資金）	1,000,000	1,000,000	0	0	0
第3号基本金引当特定資産（厚生資金）	228,736	229,653	230,362	230,975	231,637
〃（奨学資金）	454,104	454,105	454,105	454,105	454,105
〃（榎並奨学・報奨基金）	127,284	127,800	128,057	128,631	129,205
〃（記念事業準備資金）	148,065	148,731	149,286	149,845	150,403
減価償却引当特定資産	7,625,364	7,127,213	7,327,213	7,977,213	7,877,213
第4号基本金引当特定資産	248,834	248,834	248,834	248,834	248,834
退職給与引当特定資産	797,892	785,011	747,097	747,568	728,924
教育充実準備積立金	720,000	720,000	720,000	720,000	720,000
研究充実準備積立金	30,700	55,700	80,700	105,700	130,700
奨学金特定資産積立金	8,000	7,000	6,000	6,000	4,000
その他の固定資産	5,368	5,368	5,170	5,170	5,170
電話加入権	1,325	1,325	1,325	1,325	1,325
有価証券	4,043	4,043	3,845	3,845	3,845
流動資産	1,498,038	1,938,916	1,695,050	1,663,570	1,735,395
現金預金	1,455,276	1,522,591	1,116,433	1,657,133	1,539,531
未収入金	37,947	413,991	571,472	4,145	188,333
前払金	4,815	2,334	7,145	2,292	7,531
資産の部合計	26,922,855	27,342,089	27,260,564	27,320,122	26,890,336

固定負債	797,892	785,011	746,395	747,569	738,144
退職給与引当金	797,892	785,011	746,395	747,569	728,924
役員等退任謝礼引当金	0	0	0	0	9,220
流動負債	674,038	1,229,430	781,918	664,630	760,489
短期借入金	0	0	0	0	0
未払金	38,504	638,417	141,553	46,683	161,181
前受金	448,293	410,534	474,364	479,178	401,405
預り金	187,239	180,479	166,001	138,769	140,043
賞与引当金	0	0	0	0	57,860
負債の部合計	1,471,930	2,014,441	1,528,313	1,412,199	1,498,633

差引純資産額	25,450,924	25,327,648	25,732,251	25,907,923	25,391,703
--------	------------	------------	------------	------------	------------

4. 経営上の成果と課題、今後の対応方策

(1) 経営上の成果と課題

- ・2025 年度は、学部納付金の値上げの実施もあり、学生生徒等納付金収入については前年度を上回った。また収入源の多様化を図るべく、補助金や競争的研究費等の獲得に努めた結果、施設設備費補助金 2 件獲得が出来た他、付随事業・収益事業収入における受託事業収入についても大口案件の獲得により前年度を上回った。
- ・キャンパス整備計画の遂行に伴い多額の資金投入を行っており、今後の財務基盤を維持するため、引き続き、学生生徒等納付金収入の安定的な確保や収入源の多様化を図るとともに、経常経費を含めた適正な予算の作成と執行への取り組みが必要である。

(2) 今後の対応方策

- ・収入面においては、引き続き最大の収入源である学生生徒等納付金収入の安定的な確保を図るとともに、積極的な補助金や競争的研究費等の獲得、寄付金事業の充実を図る。
- ・支出面においても、経常経費を含め予算を慎重に審議し、適切かつ効率的な資金投入を行う。

Ⅳ 学校法人の業務の適正を確保するための体制（内部統制システム）の整備及び運用状況の概要

1. 関係する決議の概要

①2024 年 10 月 30 日（水）開催の理事会において

内部統制システムの整備に関する基本方針について審議し、2025 年 4 月 1 日付施行を決定した。

内部統制システムの整備に関する基本方針に基づいて、内部統制に係る必要な規程の制定及び改正について審議し、2025 年 4 月 1 日付施行又は改正を決定した。

②2025 年 3 月 19 日（水）開催の理事会において

内部統制システムの整備に関連する規程を改正した。

③2026 年 3 月 18 日（水）開催の理事会において

内部統制システムの運用状況について基本方針に沿って順調に運用できていることを確認した。

2. 体制整備及び運用状況の概要

① 理事の職務の執行に係る情報の保存及び管理に関する体制

理事会、評議員会等の重要会議の議事録その他理事の職務執行に係る情報は、寄附行為及び文書取扱規程に基づき、適切に作成、保存及び管理している。

② 損失の危険の管理に関する規程その他の体制

危機管理規程を制定し、危機管理委員会が危機管理マニュアルを整備し、危機管理体制の充実を図っている。

③ 理事の職務の執行が効率的に行われることを確保するための体制

学内理事で構成する会議においては、日常的な大学運営に関する決議を行い、学外理事も含む会議においては、中長期的な経営に関する決議を行うことにより効率性を高めている。また、理事会が理事の職務執行を監督している。

④ 職員の職務の執行が法令及び寄附行為に適合することを確保するための体制

業務執行機関からの独立性を有する内部監査室を設置し、業務の適正及び効率性を確保するため、内部監査室規程に基づき、業務を執行する各部の職務執行状況を定期的に監査し、理事会で内部監査報告を行っている。

⑤ 監事の監査が実効的に行われることを確保するための体制等

寄附行為において、「監事は、いつでも、理事及び職員に対して事業の報告を求め、又は本法人の業務及び財産の状況の調査をすることができる」と定めている。また、理事長が監事連絡会を開催し、意見交換を図り、相互認識を深めている。